

2-2 東北地方の地殻変動

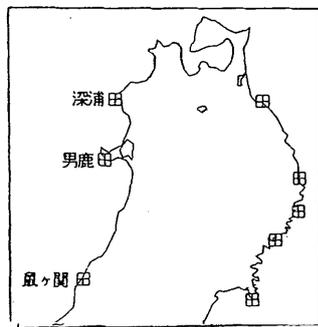
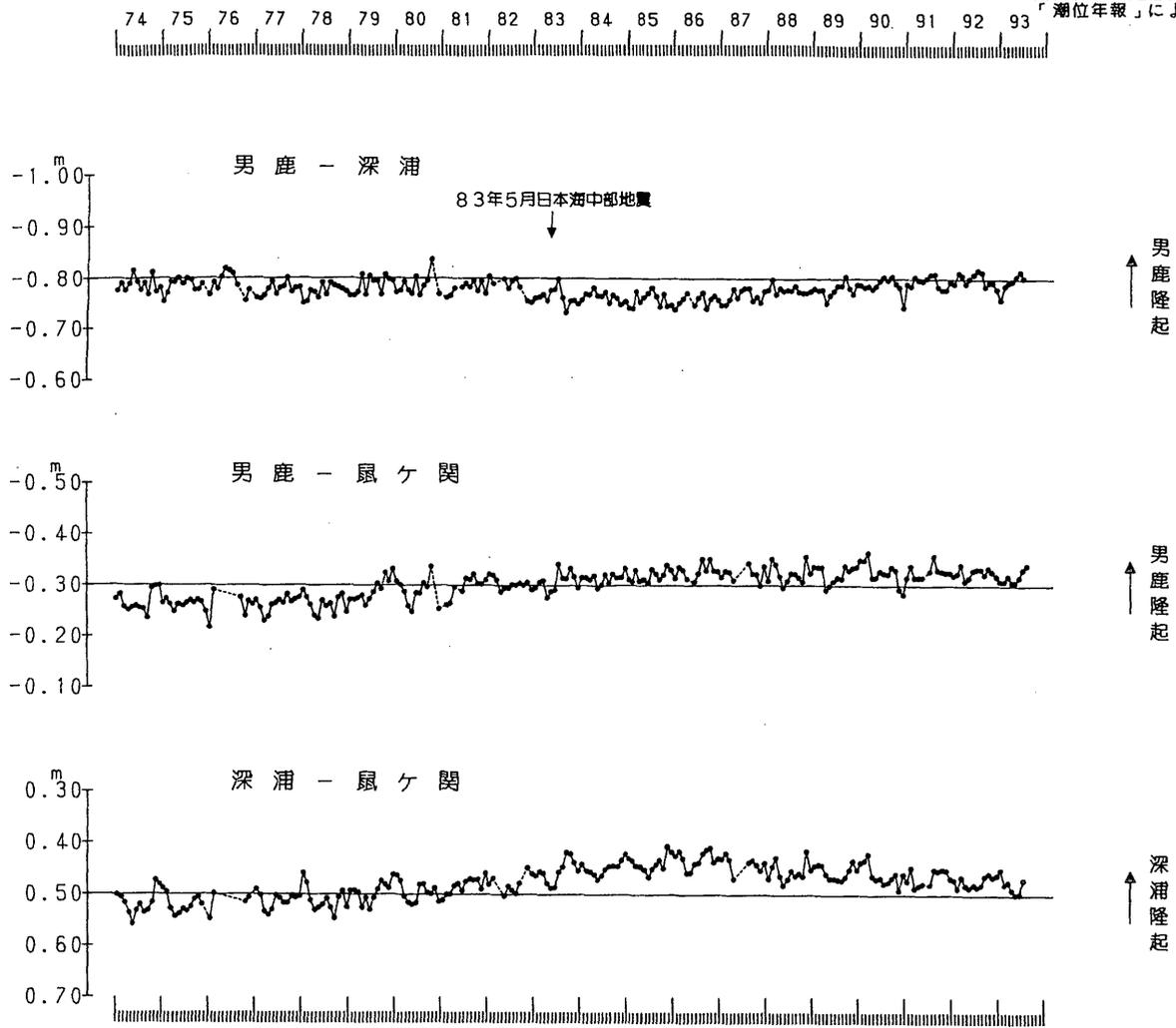
Crustal Movements in the Tohoku District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、日本海沿岸の各験潮場間の月平均潮位差である。1983年の日本海中部地震以後、深浦が沈降している。第2図は、三陸地方の各験潮場間の月平均潮位差である。最近は特に目立った変化はない。第3図は、東北地方南部太平洋岸の各験潮場の月平均潮位差である。鮎川が最近隆起傾向にある。また、小名浜が依然隆起を続けており、常磐炭田の閉山による影響が残っていると考えられる。

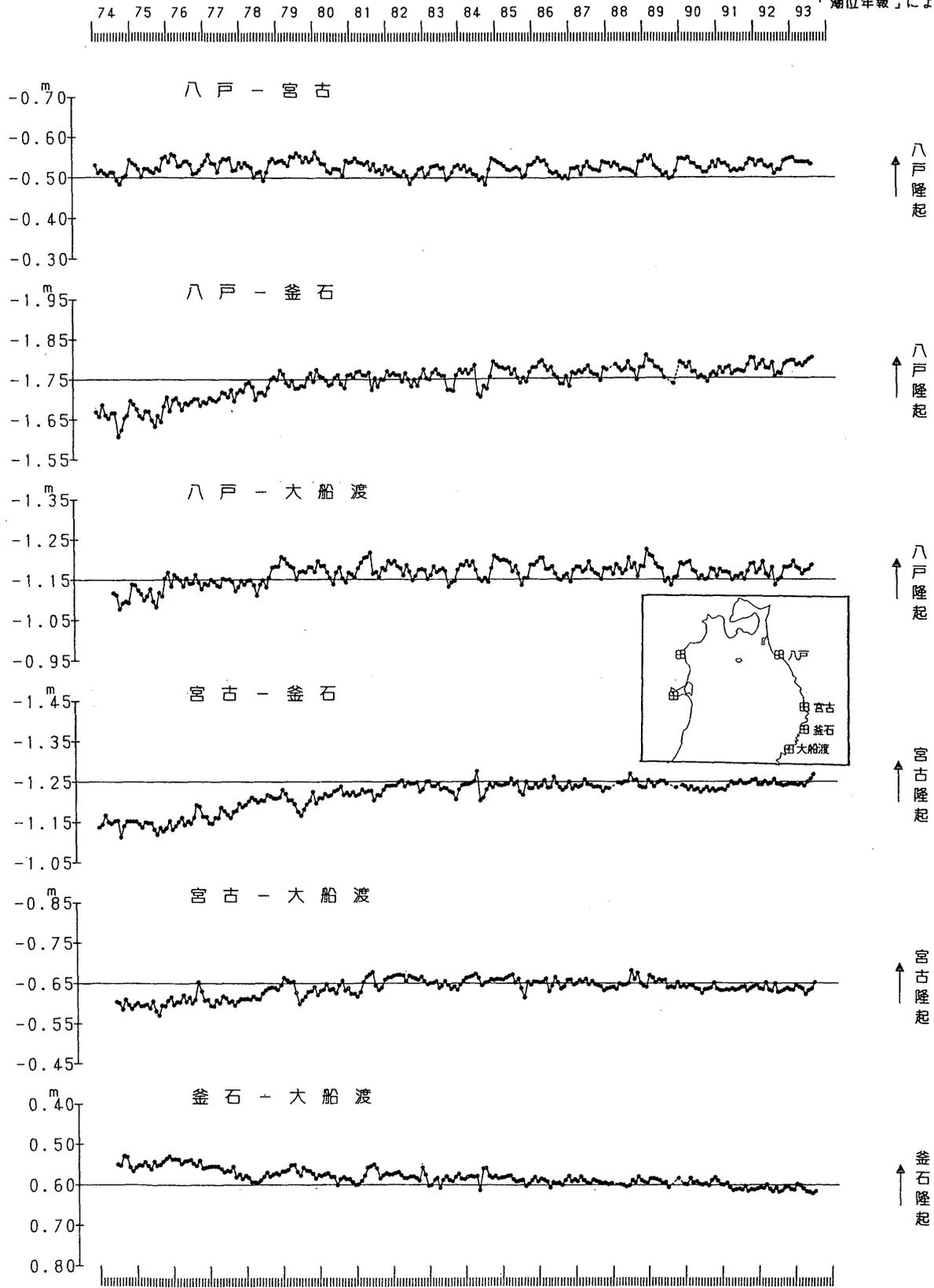
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，48（1992），68-72.
- 2) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，49（1993），67-76.
- 3) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，50（1993），71-76.



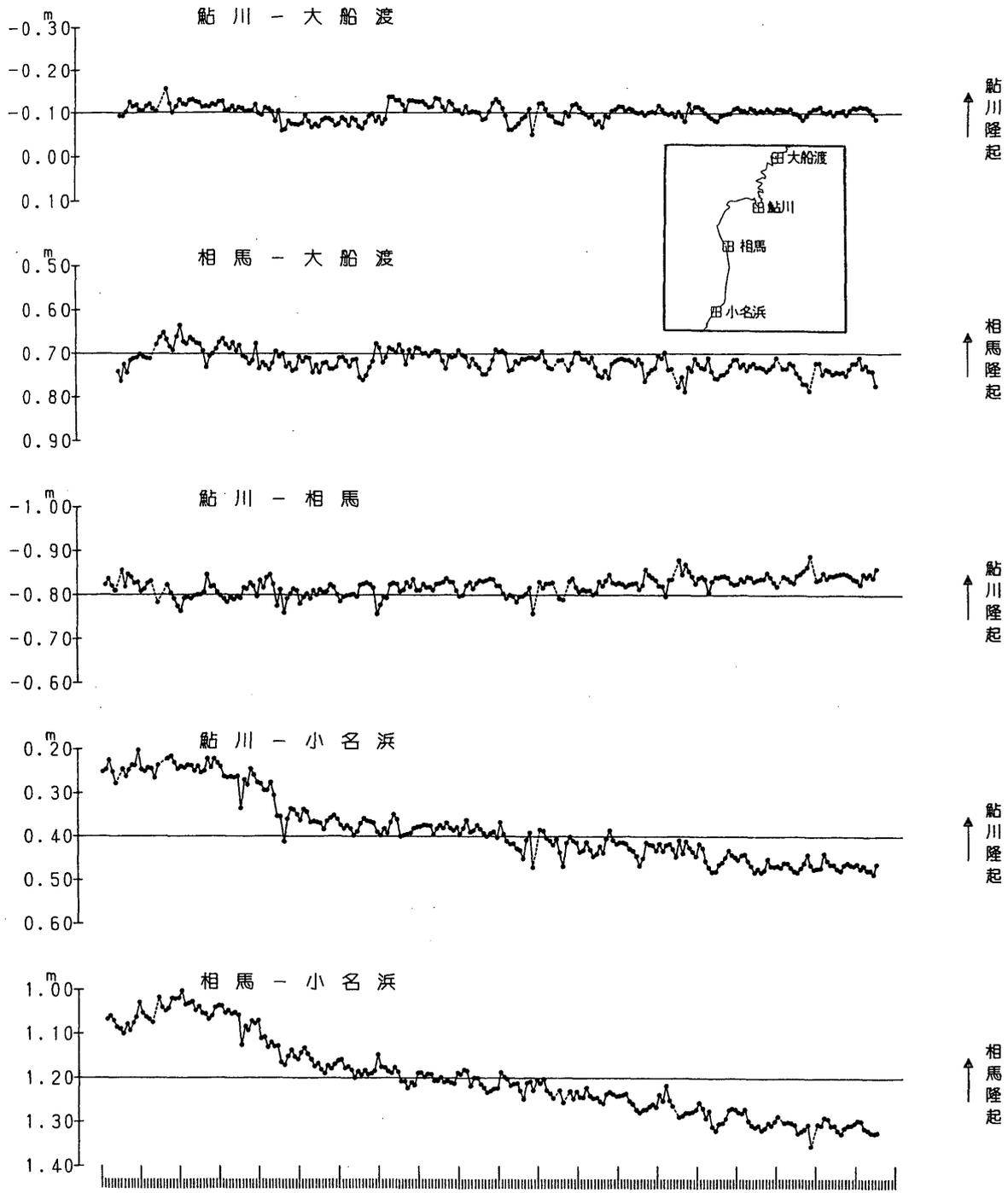
第1図 東北地方日本海沿岸各験潮場間の月平均潮位差

Fig.1 Differences in monthly mean sea levels between tide stations on the Japan Sea coast of the Tohoku district.



第2図 三陸地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.2 Differences in monthly mean sea levels between tide stations in the Sanriku district.



第3図 東北地方南部太平洋沿岸の各験潮場間の月平均潮位差

Fig.3 Differences in monthly mean sea levels between tide stations on the Pacific coast of southern Tohoku district.